

「熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査」

医学情報の研究利用について

熊本大学医学部附属病院救急外来は、このたび日本救急医学会 熱中症に関する委員会による「効果的な熱中症予防のための医学情報等の収集・評価体制構築に関する研究」の一環として行われる熱中症の実態調査を全国の日本救急医学会指導医指定施設、救命救急センター、大学病院ならびに市中病院の救急部と共同で研究を行うこととなりました。調査対象となるのは、2015年7月1日から2015年9月30日までの間に、上記の施設を受診された患者さまです。

調査項目は、年齢、性別、発生状況、既往歴、検査所見、治療内容などです。これらのデータにおいて、すべての患者さまは匿名化され、お名前や住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切なく、何らの負担が生じることもありませんのでご安心ください。調査したデータは日本救急医学会 熱中症に関する委員会へ登録され、他の施設から同様に送られてきたデータとともに集計された後、熱中症の診断や治療について検討するために解析が行われます。データについては、研究期間中（2015年7月から2016年8月）は、研究責任者のもとで厳重に管理され、研究終了後に紙媒体の資料はシュレッダーにて破棄され、電子データは匿名化した状態で完全に消去されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることがあります。

本研究の調査対象の患者様で調査に同意されない方はお申し出ください。また同意取り消しは後日でも可能ですので、その際にもお申し出ください。

同意取り消しによって治療上、不利益を受けることはありません。

このお知らせは2015年7月1日より9月30日まで熊本大学医学部附属病院救急外来に掲示します。

この件に関しまして、ご質問などございましたら、下記 研究責任者に遠慮なくお尋ねください。

研究責任者 熊本大学医学部附属病院 救急・総合診療部 金子 唯 電話：096-373-5769（代表）
